

～新潟県拠点情報かわら版～

お知らせ

北陸農政局新潟県拠点では、「現場と農政を結ぶ」業務を通じて、地域の皆様にタイムリーに農政に関する情報をお伝えするとともに、農業現場の抱える課題や農政に対する意見をきめ細かに汲み上げ、各種施策につなげていくこととしていきます。

地域の農業者(地域の担い手や若手農業者、女性農業者など)の方の集まり等で、「農業施策の〇〇について聞きたい。」といった御要望がございましたら、直接伺って御説明いたします。

御遠慮なく、お気軽に下記へ御連絡ください。

令和3年7月29日

○令和3年産米等の作付意向について(第3回中間的取組状況)

農林水産省では、都道府県農業再生協議会及び地域農業再生協議会からの聞き取りに基づき、都道府県別及び地域農業再生協議会別の作付意向(中間的取組状況)を公表しているところです。

この度、第3回中間的取組状況として、都道府県別の6月末時点の作付意向を公表します。2年産実績との比較による各都道府県の主食用米の作付意向は、6月末時点では、減少傾向41県、前年並み傾向6県、増加傾向0県と見込まれており、減少傾向とした県のうち、「1～3%程度減少傾向」は17県、「3～5%程度減少傾向」は12県、「5%超の減少傾向」は12県と見込まれています。4月末時点に比べると「5%超の減少傾向」とした県は2県から12県と大幅に増加しています。

また、6月末時点の作付意向を集計した結果、全国の主食用米の作付面積は、前年比で約6.1万ha程度減少すると見込まれます。一部の地域農業再生協議会で認められている期限後修正の特例措置や、水田面積の減少等も考慮すると、各都道府県における作付転換が計画どおりに進めば、最終的には約6.2～6.5万ha程度の減少が見込まれます。

なお、加工用米は22県、新市場開拓用米(輸出用米等)は20県、飼料用米は41県が増加傾向と見込まれます。 →次頁へつづく

連絡先

北陸農政局新潟県拠点地方参事官室

〒951-8035 新潟市中央区船場町2-3435-1

TEL 025-228-5216 FAX 025-223-2264



「あふてらす」は、農業・林業・漁業、その加工・販売に興味がある方、これからはじめたい方向けの情報を発信しています。



全国の作付意向の詳細は以下のURLから御確認ください。

https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/s_taisaku/attach/pdf/210729-2.pdf

新潟県(北陸ブロック)の作付意向の詳細は以下のURLから御確認ください。

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/seisan/attach/pdf/210729-2.pdf>

令和3年7月27日

○穂Click!(ホクリック!)【田んぼの新しい楽しみ方教えます。】

農林水産省公式YouTubeチャンネル「BUZZ MAFF」で北陸農政局が配信しているチャンネル「穂Click!(ホクリック!)」の最新作では、新潟県津南町で行われている伝統的な農法「馬耕(ばこう)」の作業の様子をお伝えしています。

中山間地域では、農機の搬入が難しく、更に山奥になると通信環境のインフラの整備が追い付いておらず、スマート農機の導入が限られてしまう場合があります。このような課題も馬の力を借りれば解決できるかもしれません。馬であれば機械に頼らずとも山奥の田畑を耕すことができます。



動画は下記URL又は右のQRコードから視聴できます

https://www.youtube.com/watch?v=ffuWRdqY9ng&list=PLVc03uX0IwZu9rwC_97-MVsw3x3_t2uD9

○「みどりの食料システム戦略」の説明動画を公開しました

農林水産省では、「みどりの食料システム戦略」について、関心のある項目を選択して御覧いただけるよう、説明動画を作成しました。

動画では、枝元事務次官が戦略の背景や策定に向けた思いを語っているほか、戦略の総論及び8つの項目について、それぞれ担当部署の幹部職員が説明を行っていますので是非ご視聴いただければと思います。



見る  YouTube

農林水産省

「みどりの食料システム戦略」説明動画は下記URL又はQRコードから視聴できます

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/video.html>



「みどりの食料システム戦略」トップページへはこちら↓

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>



○「国産原材料の需要拡大及び輸出促進による需要創出に向けたキックオフ大会」を開催します

我が国の農林水産業の維持・発展のためには、国産原材料の需要拡大と併せ、拡大する海外の食市場の成長を取り込むことが不可欠です。

このため、国産原材料の需要拡大に積極的に取り組む事業者や輸出に積極的にチャレンジする事業者等から最新の取組状況や今後の展望について御報告いただき、国産原材料の需要拡大及び農林水産物・食品の輸出促進による需要創出に向けた気運を醸成するためのキックオフ大会を開催します。

現在、輸出に取り組んでいる方はもちろん、これから取り組もうと考えている方も是非とも積極的にお申込みください。

(申込方法等の詳細は、ページ下部のURLから御確認ください。)

開催日時及び場所

日時: 令和3年8月18日(水)14時00分～16時00分

方法: オンラインによる開催(Microsoft Teams)

The banner features the logos of the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) and the Hokuriku Prefectural Office of Agriculture, Forestry and Fisheries (Hokuriku MAFF) on the left, and the GFP (Global Food Partnership) Export Project logo on the right. The main title is '国産原材料の需要拡大及び輸出促進による需要創出に向けたキックオフ大会' (Kick-off Meeting for Expanding Demand for Domestic Raw Materials and Promoting Exports). The background image shows a large container ship at a port. Below the main image are five smaller images: a bottle of sake, a bag of rice, a bag of '大豆と玄米のベジフィレ' (Soybean and Brown Rice Veggie Fillet), a glass of sake, and a display stand for 'Flavours of Ishikawa'.

令和3年7月30日北陸農政局プレスリリース↓

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/news/press/keiei/210730.html>

